

文章カステップ4級 指導ナビの使い方

本資料について

- ・文章カステップ4級・指導ナビを使用した指導手順の例を一覧表で掲載しています。
- ・一覧表は【1コマ45分×10コマ】での指導例を掲載していますが、順不同でご活用いただけます。貴校でのお取り組み状況に合わせて、自由に選択・組み合わせでご活用ください。

基本的な使い方

一覧表では、主に以下の流れで授業を進めています。

- ①学生に文章カステップ・指導ナビ（学習者用）を配布
- ②教員より指導ナビ（指導者用）を使ってポイントを説明
- ③文章カステップの演習問題に取り組む
- ④文章カステップの別冊解答にて自己採点を行う（学生同士で交換し、相互採点させることも一法）

▼指導手順例 一覧表

コマ数	時間(分)	内容	指導ナビ スライド	文章カ ステップ	指導ポイント
		●指導者用資料に沿って説明 ○文章カステップ4級の問題に取り組む ☆文章カステップ4級別冊解答を使用	●指導者用資料 ★学習者用資料	○ステップ3級 ☆別冊解答	
1	5	●はじめに	●3～11 ★2～10		★学習者用資料【表紙～15】を配布 (10時限分まとめて配ってもよい) 学生にとっての具体的なメリットを伝え、この授業を受ける意義を理解させる。 指導者用資料8～10の説明時に、学生の専門分野（就職先）でのメリットを付け加えることも一法。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	15	○第1章 語彙・文法 第1～2ステップ	●13	○P6～13	
	5	☆答え合わせと解説		☆P3～6	
	10	●時制・副詞・接続関係	●14～19 ★12～15		
	10	○第1章 語彙・文法 第3ステップ	●20～22	○P14～17	
2	5	☆答え合わせと解説		☆P7～8	★学習者用資料【16～22】を配布 言葉と図表を合わせて使うことで、文字だけの説明よりも分かりやすくなることを理解させる。また、図表には、いろいろなものがあり、用途によって使い分ける必要があることを理解させる。 学生の専門分野（就職先）でよく使うグラフを例示し、使用用途や使用場面を解説することも一法。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	5	●資料分析	●24～28 ★17～20		
	10	○第2章 資料分析 第1～3ステップ	●29～31 ★21～22	○P18～23	
	10	☆答え合わせと解説		☆P9～11	
	10	○第2章 資料分析 第4～5ステップ	●29～31 ★21～22	○P24～27	
	5	☆答え合わせと解説		☆P11～12	
3	5	●文章読解	●33～41 ★24～29		★学習者用資料【23～35】を配布 指導者用資料38～41は学生に配布しているので、見ておくよう声かけする程度でよい。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	10	○第3章 文章読解 第1～2ステップ	●42	○P28～31	
	5	☆答え合わせと解説		☆P13～14	
	5	●文章読解	●43～49 ★30～33		
	15	○第3章 文章読解 第3～5ステップ	●50	○P32～37	
	5	☆答え合わせと解説		☆P14～15	
4	5	●文章読解	●51～52 ★34～35		★学習者用資料【36～40】を配布 第4章では、手紙文の学習を通じて、分かりやすい文を書く練習をする。 「手紙など書かないから関係ない」と学生が思わないよう、この章で学ぶことの意義を指導者用資料67で理解させる。 学生の専門分野（就職先）で、どんな風に役立つかの説明を加えることも一法。
	10	○第3章 文章読解 第6～7ステップ	●53	○P38～41	
	5	☆答え合わせと解説		☆P15～17	
	5	●手紙文	●55～58 ★37～38		
	20	○第4章 手紙文 第1～4ステップ	●59	○P42～49	

問題数が多くて集中力が続かない場合は、**見開き1ページごとに問題演習→採点を交互**におこなうのもおすすめ！

コマ数	時間(分)	内容	指導ナビ スライド	文章力 ステップ	指導ポイント
		●指導者用資料に沿って説明 ○文章力ステップ4級の問題に取り組む ☆文章力ステップ4級別冊解答を使用	●指導者用資料 ★学習者用資料	○ステップ3級 ☆別冊解答	
5	10	☆答え合わせと解説		☆P17～20	★学習者用資料【41～55】を配布 (指導者用スライドノート部分に学習ポイント記載有)
	5	●推敲	●60～63 ★39～40		
	10	○第4章 手紙文 第5～6ステップ	●64	○P50～53	
	5	☆答え合わせと解説		☆P20～22	
	15	●意見文	●66～73 ★42～44		
6	20	●意見文とは(グループワーク)	●74～77 ★45		指導者用資料77にて学習者を指名して、 ブレンストーミングで思い出した内容を発表させ、クラスで共有する。 指導者用資料80, 81の説明の際、意見文が、 いわゆる「感想文」や「作文」と異なることを補足する。
	5	○第5章 意見文 第2ステップ	●78	○P56～57	
	5	☆答え合わせと解説		☆P23	
	15	●事実と意見	●80～93 ★46～51		
7	20	○第5章 意見文 第1, 3～4ステップ	●94	○P54～55 ○P58～61	(指導者用スライドノート部分に学習ポイント記載有)
	10	☆答え合わせと解説		☆P22～24	
	15	●文章構成	●95～103 ★52～53		
8	30	○第5章 意見文 第5～6ステップ	●104	○P62～67	第6ステップは、学生が書いた意見文を元にした答え合わせは クラス内では困難であるため、別冊解答にある作成例を元に解説するとよい。 意見文については自己採点が難しいため、 別冊解答p26のチェック項目を使った 学生同士の相互採点 がおすすめ！
	15	☆答え合わせと解説		☆P24～26	
9, 10	60	○まとめ問題	●106	○P68～77	巻末のまとめ問題(検定1回分の問題量)を、2時限に分けて解かせる。 分け方は、この通りでなくともよい。
	30	☆答え合わせと解説		☆P26～30	これ以上の授業時限数が確保できる場合は、協会HPに掲載している 過去問題などを利用して、模擬テストをおこなうことも一法。